



真龍小便い

【学校の教育目標】
☆心と体をきたえる子
☆美しい心をもつ子
☆考えて行動する子
☆生き生きと学ぶ子

No.7 令和5年9月29日発行

「かしこくなる魔法の言葉」

校長 斉藤 直彦

今月号では、先日の前期終業式で、子ども達にお話しした内容を、以下に載せます。

「人は、あいがとうの数だけ賢くなる」という言葉があります。

校長先生は、今、55歳ですがこれからもまだまだ賢くなりたいので、皆さんに、あいがとうを10個言わせてください。

- ①いつも、おはようございますと挨拶してくれてありがとう。
- ②下校する時には、窓越しに見える校長先生に手を振ってくれてありがとう。
- ③いつも、そうじを丁寧にしてくれてありがとう。
- ④時間になったら授業を始められるように準備してくれてありがとう。
- ⑤手を洗ったら、ハンカチで手を拭いてくれてありがとう。
- ⑥困ったことがあったら、先生方に相談してくれてありがとう。
- ⑦授業中は、真剣にがんばる空気を作ってくれてありがとう。
- ⑧運動会では、たくさん感動させてくれてありがとう。
- ⑨つらいことがあっても、学校に来てくれてありがとう。
- ⑩みなさんと、真龍小学校で出会わせてくれた運命に、ありがとう。

こんな言葉もあるようです。

「楽しいと考えた数だけ、未来が素敵になる。」

皆さんで力を合わせて頑張ってきた前期、周りの人たちにたくさん感謝して、そして、反省するところはしっかりと、来週からの後期をさらに楽しいものにしてくれるとうれしいです。

以上が、前期終業式でお話しした内容です。

もっともっと、たくさん伝えたい「ありがとう」がありますが、少しでも、保護者の皆様とも共有したくて、紙面を使わせていただきました。

日	曜	10月の主な行事
1	日	
2	月	児童朝会
3	火	短縮日課
4	水	5年生社会見学（釧路町自動車整備工場）
5	木	通常日課 1～5年生3時間授業給食なし 6年生5時間授業給食あり 釧路管内学校教育研究大会厚岸大会
6	金	短縮日課
7	土	1～5年生は11:40頃下校予定です。 給食がありませんので、昼食の用意をお願いします。
8	日	
9	月	スポーツの日
10	火	短縮日課
11	水	短縮日課 会場準備②
12	木	通常日課 学習発表会（児童公開日）
13	金	短縮日課 会場準備③
14	土	学習発表会（保護者公開日）
15	日	
16	月	
17	火	短縮日課 色覚検査週間（～31日）
18	水	クラブ④
19	木	短縮日課
20	金	短縮日課 保護者面談①
21	土	開校記念日
22	日	
23	月	講話朝会⑨ 自転車終了 交通安全指導日
24	火	短縮日課 歯科指導（1・2年）
25	水	委員会⑧ 歯科指導（3・4年）
26	木	短縮日課
27	金	短縮日課 保護者面談② SC来校
28	土	土曜授業 厚岸町合同避難訓練
29	日	
30	月	二計測・視力検査（1・2年）保護者面談③
31	月	短縮日課 二計測・視力検査（3・4年） 保護者面談④

10月の帰宅時刻 17:00

この時間以降の外出は保護者同伴をお願いします。

下校時刻がしっかりと伝わっておらず、ご迷惑をおかけしたご家庭もあるかと思います。申し訳ございません。今後は、学校便りにも下校時刻を掲載し、毎月お知らせいたします。

5年生・宿泊研修

9月14日（木）15日（金）の2日間、5年生がネイパル厚岸にて宿泊研修を行いました。子ども達は、今年のスローガン「5年生らしくけじめをつけて楽しもう～協力・笑顔・ルール徹底」のもと、森の中のウォークラリーやグループで協力しての火おこしなど、普段はできない体験を積むことができました。



この2日間の経験を、これからの学校生活に役立ててほしいと思います。

全校一斉参観日・PTA 窓ふき作業

9月4日（月）、全校一斉の参観日が行われました。多くの保護者の皆様にご来校頂き、学習に励む子ども達の様子をご覧いただきました。ありがとうございました。また、授業参観の前には、PTA 総務部の取り組みとして校舎内の窓ふき作業が行われました。こちらも多くの保護者の皆様にご協力いただき、校内の窓ガラスがきれいになりました。重ねてお礼申し上げます。



芸術鑑賞会

9月19日（火）、芸術鑑賞会が行われました。今年は音楽鑑賞で、和太鼓と津軽三味線、フルートによる和洋混交の演奏会が開催されました。3人のプロの奏者による演奏は大迫力で、心地よいリズムに合わせて自然と身体を動かす子ども達の様子が見られました。楽器にまつわるお話や演奏体験コーナーなど、充実した鑑賞会となりました。



人権教室

9月11日（月）、厚岸町人権擁護委員の皆さんにお越しいただき、3・5年生を対象に人権に関する授業をして頂きました。人権委員の先生方のお話を通じて、思いやりや優しい心について理解を深めることができました。ご協力、ありがとうございました。

真龍小学校便り おすすめ本(R5.9月号)

『いのちがかえっていくところ』

絵・文 最上一平・伊藤秀男（童心社）

真龍おはなし隊 小島 郁子

お父さんに連れられて、初めて溪流釣りに来た“たもん”。夜明けの川で、エサになる虫を石の下からとるところからお話が始まる。

何回目かの挑戦で、初めて魚がかかった。魚の強い引きに、頭がカアーンと熱くなり、心臓がドッキンドッキンとするたもん。息を飲む格闘の末、たもんはとうとう大きなイワナを釣り上げ、その大きさ、美しさ、命の重みに感動する。

お昼になり、お父さんが、たもんの釣ったイワナを食べようと火をおこした。お父さんの手でさばかれていくイワナを見て、いやな気持ちになるたもん。焼き上がったイワナをほおばると、おいしいけれど、涙が流れた。

「イワナの命をとったんだから、きれいに食べろ。」お父さんの言葉に、イワナのたましいはどこに行くのか考えるたもん。命の重さ、生きること、食べることを全身で感じたたもんの心情が、迫力のある伊藤秀男さんの絵と共に心に迫ってくる絵本です。

作者の最上一平さんは山形県出身で、自然や人の暮らし、山の言い伝えなどを題材にした多数の作品があり、新美南吉児童文学賞やひろすけ童話賞など、数々の賞を受賞している作家さんです。

学校図書館に所蔵があります。



北方領土学習

9月8日（金）、4年生を対象に北方領土学習が行われました。子ども達が納沙布岬へ行き、北方領土を実際に見たり、北方領土の資料館でその歴史を学んだりしてきました。北方領土に関する学びを深める貴重な社会見学となりました。



避難訓練

9月12日（火）、火災を想定した避難訓練を行いました。火災警報が鳴った後は、おしゃべりをせずに素早く運動場へと避難する子ども達の姿が見られました。避難後は、厚岸消防署の方から今回の訓練について講評を頂きました。10月28日には、土曜授業として厚岸町合同避難訓練に全校で参加予定です。今後も、様々な場面を通じて、子ども達の防災意識の向上に努めていきます。

マラソンチャレンジ

9月25日（月）から「マラソンチャレンジ」が行われています。子ども達は、中休みや昼休みにグラウンドの周りを走っています。目標の周回を走り終えると、そのままサッカーや鬼ごっこなど、元気よく外遊びを楽しむ姿も多く見られます。スポーツの秋。マラソンチャレンジや外遊びを通じて、運動に親しんでほしいと思います。

